

株式会社太陽住建の取材を終えて

正岡 凌平

株式会社太陽住建はリフォームと太陽光発電の2つを柱とした建設業を営んでいる。

1. CSR活動への取り組み

1.1 屋根貸し発電事業

株式会社太陽住建は、都市部へ発電所を増やしていくことを重要視しており、都市部では屋上为空いているということに着目して、その空いている屋上を発電所にしていこうという試みを行っている。特に介護施設の屋上を借りて発電を行っており、賃料として株式会社太陽住建による各種工事の費用負担や蓄電池の提供を行うことで、災害時に福祉避難所となる当該施設がより災害に強くなるといったメリットがある。加えて、その工事には発達障害の方々や困難を抱えた方が携わっており、そのような方々の賃金向上・雇用促進にも大きなメリットがある。

1.2 地域とつながる CSR 活動

1.2.1 井土ヶ谷アーバンデザインセンター

株式会社太陽住建は地域をつなぐ拠点として、2017年1月に「井土ヶ谷アーバンデザインセンター」を開設し、南区井土ヶ谷に特化して地域の課題解決を行う場として利用されている。

1.2.2 リビングラボ

井土ヶ谷アーバンデザインセンターでの活動の延長として、現在まで計5回のリビングラボを開催し、南区は横浜市の区の中なかで2番目に空き家が多い区であるという現状から今後どのように空き家を活用していくかといった「空き家問題」についてや、これからの働き方などさまざまなテーマに取り組んでいる。

2. 社員に向けた社内での取り組み（お客様会議）

社内で毎月末に開かれる会議で、「自分のどのような行動でお客様に感動していただいたか、他のメンバーのどのような行動に感動したか」という点について、CSRに取り組む外部の方が加わってメンバーを評価するというもので、その評価などが社員の励みとなって、活力となっている。

3. 今後の CSR 活動への取り組み

現在行っている CSR 活動に加えて、さまざまなキーワードから SDGs に特化した会を開くなどの活動をすることによって、さまざまなつながりを増やし、「コト」を増やす活動を進めていくことを考えている。